

第10回

教えて！ インタビュー



緩和ケア科

こばやし ひろし

小林 紘 医師

経歴

平成21年3月 東邦大学医学部医学科卒業
 平成21年4月 前期後期研修（東邦大学医療センター大森病院）
 平成23年4月 東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科入局
 平成25年4月 がん研究会有明病院 がんプロフェッショナル養成コース
 平成27年3月 がん研究会有明病院 がんプロフェッショナル養成コース修了
 平成27年4月 東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科 任期助教
 平成28年4月 東邦大学緩和ケアセンター兼任
 平成30年4月 東邦大学医療センター大森病院 特任助教 緩和ケアチーム専任
 令和3年10月 池上総合病院 呼吸器内科勤務
 令和4年4月 池上総合病院 呼吸器内科科長
 令和6年4月 AOI国際病院 緩和ケア病棟

資格/ 専門医

日本内科学会認定医
 日本内科学会専門医
 日本呼吸器学会専門医
 日本緩和医療学会認定医
 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会
 緩和ケア研修会指導者研修会修了

所属 学会

日本内科学会
 日本呼吸器学会
 日本緩和医療学会
 日本死の臨床研究会

Q1. 医師を志したきっかけは何ですか？

これという衝撃的な理由があるわけではないと思います。特に医師になりなさいと言われたわけではなく、親の医師としての姿を幼い時より見て、自然と医師という職業に興味を持ち目標になっていました。また、尊敬する祖父が病で伏せるようになり、高校生であった私は、「医学の知識があれば・・」と深く考えたこともありました。

Q2. 緩和ケアを専門にした理由は何ですか？

みなさんも小さいころに偉人伝の漫画を見ていた方もいるのではないでしょうか。私はマザーテレサの偉人伝が大好きでした。「貧しい」とは、「尊厳」とはどういうことかと教えられ、苦しみのなかにいる人と関わっていく姿は緩和ケアに通ずるものがあります。医学部に入って4年目ぐらいに、「緩和ケア医になりたい」と親に言ったことを覚えています。それくらい早くから緩和ケアに興味がありましたが、医学生実習でとても痛がっている肺がんの患者様を経験したことに影響を受け、東邦大学大森病院の呼吸器内科で特に肺がんを専攻していくようになりました。大学卒後10年程で緩和ケア医として勉強するため、同大学病院の緩和ケアセンターで中村教授の下、緩和ケア医として研鑽をいたしました。

Q3. 患者さんに接するときに心掛けていることはありますか

大きく2つあります。一つは、私の緩和の師である中村先生の言うことには「回診の中で1回は患者の笑顔を見られるようなコミュニケーションを心がけています。」と言うことです。かなり難しいことがあります、今では自分のコミュニケーションの目標・試金石となっています。二つ目は、患者とその家族にも安心感が得られるような診療を行いたいと思います。自分の祖父が入院の中辛い状態であった時、担当の先生がきてくれた時の安堵感は今でも忘れません。自分も患者・家族にとってそんな存在ができるように日々診療していきたいと思います。

小林 紘 先生に聞きました

Q4. 日々の業務内容を教えてください

朝出勤後は情報収集を行い、朝の病棟の申し送りに参加します。その後は回診を行います。回診時に寝ている患者様は無理に起こさず、午後に回診いたします。午前・午後には緩和外来と入院がありますので、それぞれ個別に対応します。また午後1時過ぎに多職種カンファレンス・判定会議があり、その後の夕方の回診とカルテ記載、内服・点滴の処方と明日の外来・入院の準備をしています。

Q5. 好きな言葉・座右の銘はありますか？

“いかにいい仕事をしたかよりも、どれだけ心をこめたかです。”～マザー・テレサ～
特に緩和ケアでは、大事な言葉だと感じています。

Q6. 先生のリラックス法・ストレス解消法・健康維持するために続けているがあれば、おしえてください

猫2匹に犬が1匹飼っていますので、お世話をすることがリラックス・ストレス解消となっています。特に犬を飼ってから、朝の散歩の気持ちよさに気づくことができました。また、最近はお休みの時には、就職してやめてしまっていた剣道を再開することで健康維持をするようにしています。アキレス腱を切らないように注意したいと思います。



ペルシャのココアちゃん3歳
スコティッシュフォールドのミルクちゃん4歳



Q7. 地域の皆さんに一言お願いします。

緩和ケア病棟では、病気の進行を止めることが難しい場合でも、患者さんの生活の質を高めることを目指します。痛みなど苦痛の軽減、心のサポート、家族への支援など、包括的なケアを提供します。患者さんとそのご家族がより良い日々を過ごせるよう、全力でサポートいたします。

愛犬ポメラニアンの
きゅん太君と小林先
生の休日のひと時